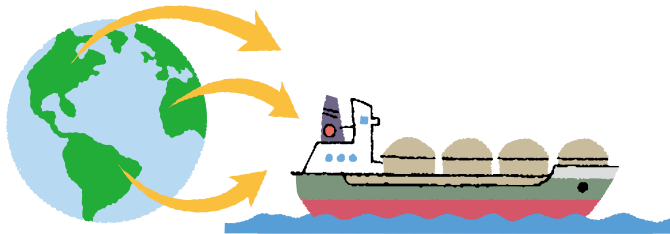


# お客さまに電気をお届けするまで(事業概要)

## 燃料調達



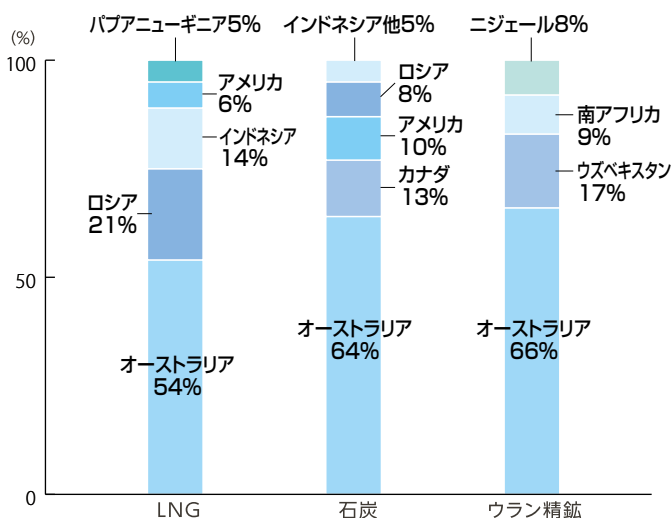
燃料調達先の多様化、資源開発・生産プロジェクトへの参画、及び燃料トレーディング（燃料の数量調整・価格管理）の導入等を行い、燃料調達力を強化しています。また、燃料輸送においては、自社 LNG（液化天然ガス）輸送船や自社専用の契約船等の運航を通じ、コスト低減を図っています。

2019年度は、LNGの調達数量減及び石炭の調達単価減により、前年度に比べ燃料費が約21%（約500億円）減少しました。

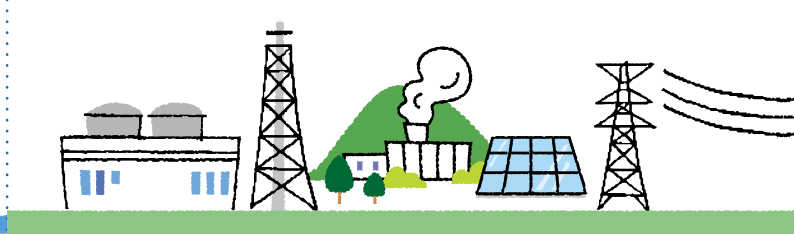


自社LNG輸送船(パシフィック・エンライトン)

### ■燃料調達状況(2019年度)



## 発電



エネルギーの長期安定確保、地球温暖化対策、及び経済的な電力供給の観点から、安全・安心の確保を前提とした原子力発電の推進、再生可能エネルギーの積極的な開発・導入、及び火力発電の高効率化等により、各種電源をバランス良く組み合わせた発電を行っています。

原子力発電所の更なる安全性・信頼性向上に向けて「特定重大事故等対処施設」の設置を進めています。また、2019年12月には、世界最高水準の高効率微粉炭火力である松浦2号機が営業を開始しました。



川内原子力発電所

### ■発電設備[九州電力(株)](2019年度末)

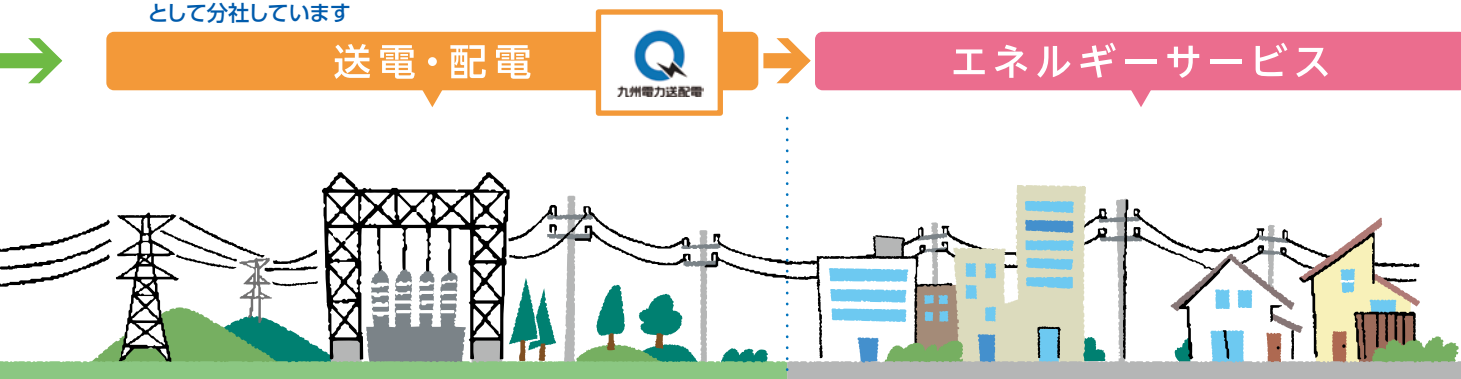
(注)分社に伴い、2020年4月1日以降、九州電力送配電(株)の設備となったものを含む

水力発電(揚水含む)		
本土	138 か所	357.6 万 kW
離島(注)	5 か所	0.4 万 kW
火力発電	7 か所	958.5 万 kW
地熱発電(パイナリー含む)	6 か所	20.8 万 kW
内燃力発電(ガスタービン含む)(注)	32 か所	40.0 万 kW
原子力発電	2 か所	414.0 万 kW
風力発電	1 か所	0.03 万 kW
発電設備合計	191 か所	1,791.3 万 kW

※端数処理により合計値が合わない場合がある

燃料調達からお客さまに電気をお届けする各過程において、CSRの取組みを行っています。

(注)九州電力株の送配電部門は、2020年4月に九州電力送配電株として分社しています



発電所から変電所まで送電線で電気を送り、変電所から配電線で、ご家庭や工場等に、電気を安定的にお届けしています。

九州の産業や生活を支える電力を安定的に低コストでお届けするため、電力システムの安定運用や送電・配電設備の着実な保全を行っています。

台風等の自然災害に伴って大規模な停電が発生したときには、総力を挙げて復旧にあたり、早期の送電に努めています。



500kV 苅北火力線 (九州一高い鉄塔 [高さ195m])

■ 変電・送電・配電設備(2019年度末)

(注) 2020年4月1日以降、九州電力送配電株の設備

変電	変電所数	604 か所	
	容量	7,529.5 万 kVA	
送電	送電線路こう長	10,900km	
	支持物	鉄塔	約25,000基
		その他 (コンクリート柱等)	約44,000基
配電	配電線路こう長	142,832km	
	支持物	コンクリート柱	約2,437,000本
		その他 (鉄柱等)	約41,000本

ご家庭のお客さまのニーズに合った料金プラン・サービスや、法人のお客さまへのエネルギーに関するワンストップサービスの提案等、お客さまの様々な思いにお応えする多様なエネルギーサービスを展開しています。

お客さまとの接点を活かした「顔の見える営業」により、お客さまのライフスタイルにあわせた料金プランや日々の生活のお困りごとを解決する「九電あんしんサポート」、「オール電化」に加え「きゅうでんガス」等を展開しています。



■ 「きゅうでんガス」の展開

